

森林組合だより

やまびこ



No. 74

平成29年6月



高性能林業機械「プロセッサ」

プロセッサは、伐倒した木を自動計測しながら玉切りと枝払を一連で行います。組合ではこの機械の導入によって、生産能力が飛躍的に向上し、大幅な生産コスト削減と生産量の増加が図られました。

主なもくじ

- 第52回通常総代会、提出議案、平成28年度事業報告……………2
- 平成28年度決算(部門別損益状況)、損益計算書、貸借対照表 ……3
- 平成29年度運営の基本方針、役員の新体制 ………………4
- 林業推進委員の紹介、森の掲示板、行事等のお知らせ ……………5
- H29組合組織構成、新事務所建設のお知らせ、お願いほか ……6

編集/発行

JForest 温海町森林組合

〒999-7123 鶴岡市大岩川字木揚場8

TEL (0235) 43-2313

FAX (0235) 43-2317

メールアドレス atsumisk@amber.plala.or.jp

HPアドレス: shinrin-atsumi.or.jp

第五十二回通常総代会

新たな役員体制を決議!

本総代会が5月30日、温海温泉林業センターにおいて、総代210名の内、16名(書面議決、委任状含む)の出席を得て、鶴岡市長様をはじめご来賓多数のご臨席の下、全十議案が承認・可決されました。



議長に選出され議案を語る 越沢 野尻善共氏



提出議案

- ◆議案第1号 平成28年度事業報告、貸借対照表、損益計算書、剰余金処分案、注記表及び附属明細書承認の件
- ◆議案第2号 平成29年度事業計画設定の件
- ◆議案第3号 平成29年度借入金最高限度額決定の件
- ◆議案第4号 平成29年度余裕金預け入れ先金融機関決定の件
- ◆議案第5号 平成29年度一組合員に対する貸付金並びに債務保証最高限度決定の件
- ◆議案第6号 平成29年度各種取扱手数料決定の件
- ◆議案第7号 平成29年度役員報酬決定の件
- ◆議案第8号 運営規約一部改正の件
- ◆議案第9号 系統運動方針設定の件
- ◆議案第10号 役員選任の件

二十八年度 事業報告



挨拶で報告する大井組長

昨年平成27年の国産材生産量は2千5百万m³で前年に比べ6%増加し木材自給率は33.3%と5年連続で上昇しています。こうした中、国は森林・林業施策の基本方針を定めた新たな森林・林業基本計画が5月に閣議決定され、計画では本格的な利用期を迎えた森林資源を活かし、需要面ではCLT(直交集成板)や非住宅分野等における新たな木材

需要の創出と、供給面においては主伐と再造林対策の強化等による循環利用を両輪として進め、10年後における国産材供給量の目標を4千万m³として、林業・木材産業の成長産業化を図るとしています。

山形県では、「森林ノミクス」を確実なものとするため、林業・木材産業の振興や森林資源の活用促進に関する施策などを規定した「山形県の豊かな森林資源を活用した地域活性化条例」が12月に公布・施行され、この条例に基づき具体的な施策を進めていくこととしました。

また、県立の農業大学校を「農林大学校」に改め、新たに林業経営学科が設置され、本年度第1期生に15名が入学してスタートしました。

本組合においては、提案型集約化施策に取り組む組織内体制について、実践体制評価委員による現地審査を受審し、今年3月に開かれた体制評価委員会(全国森林組合連合会内)の採点審査の結果、基本的な体制が組織内で構築されている事業体として、全国で12番目となる実践体制

評価の認定をいただき、一層の推進と実践体制の強化に取り組む励みとなる講評をいただきました。

事業実績は、運営の基本方針に基づき、森林所有者との合意による森林経営計画の作成は、山五十川と小国、菅野地区に591haを樹立し、提案型集約化施策は山五十川・小国・温海川・鼠ヶ関の4地区に4団地159haを実施し、さらに集約化と一体とする皆伐の提案や鶴岡市の支援による皆伐跡地を活用した「焼畑あつみかぶ栽培」の循環利用で再造林を進める実践事業に取り組みました。

こうした森林整備の搬出間伐と循環利用の皆伐等でフル生産した木材の取扱量は23,507m³と前年度実績を上回り、森林所有者へ提示した利益還元の実行とともに、大口需要の提携工場等への安定供給が図られました。また、継続して取組んでいる森林境界の明確化や幹線路網の整備についても、関連予算を確保し実施しました。公的機関利用については、組合員事業を妨げない範囲で鶴岡市や林業公社の保育事業、松くい虫駆除などを受注し、管内の森林整備の促進と森林保全に努めました。

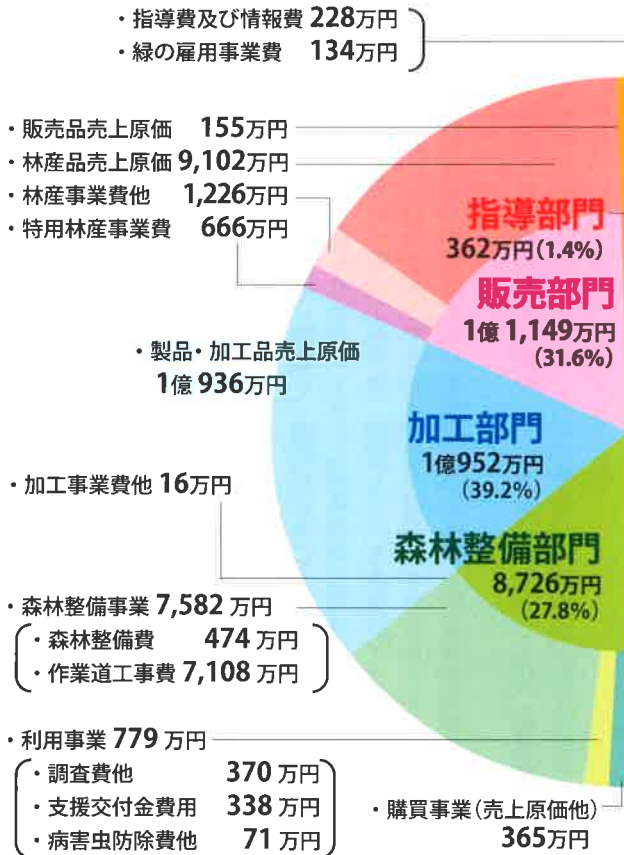
これらの取組みによって、受託事業を含めた総取扱高が5億8,405万円、事業総収益は4億292万円、事業総利益が9,102万円となり、事業管理費においては、施設の維持管理や諸費用の節減に努めた結果、当期剰余金は2,285万円を計上することとなり、計画を大きく上回ることでできました。組合員各位のご理解とご協力とともに、山形県、鶴岡市並びに関係機関のご指導とご鞭撻に対し衷心より深く感謝を申し上げます。 上げる次第です。



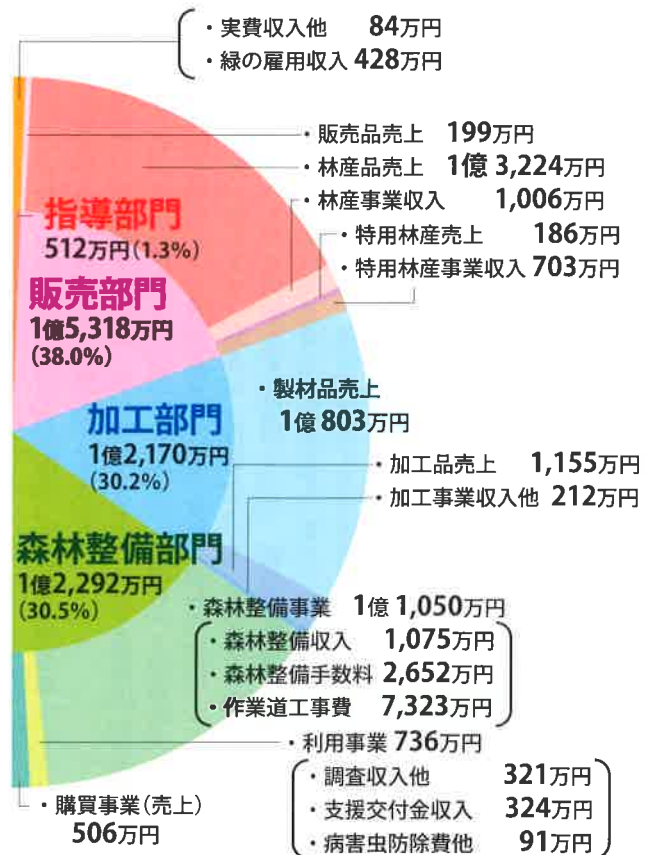
路網維持に要望を述べ 温海川 白幡廣氏

平成28年度決算(部門別損益状況)

B 事業総費用 3億 1,189万円



A 事業総収益 4億 292万円



貸借対照表

平成29年3月31日現在

(単位:万円)

科目	内	計	科目	内	計
資産の部			負債の部		
流動資産			流動負債		
1. 現金		22	1. 買掛金		2,337
2. 預金		20,229	2. 短期借入金		0
3. 売掛金	3,531		3. 未払金		1,677
貸倒引当金	△23	3,508	4. 未払法人税等		1,196
4. 未収金	3,859		5. 一般預り金		112
貸倒引当金	△19	3,840			
5. 棚卸資産		1,072			
6. 前払費用		3			
流動資産合計		28,674	流動負債合計		5,322
固定資産			固定負債		
有形固定資産			1. 退職給付引当金		
1. 建物	383				5,424
2. 構築物	12		2. リース債務		333
3. 機械装置	1,302		固定負債合計		5,757
4. 車両運搬具	73				
5. 工器具備品	2				
6. 附属設備	49		負債合計		11,079
7. 一括償却資産	48		純資産の部		
8. リース資産	303		組合員資本		
9. 土地・森林	1,037		1. 出資金		10,246
有形固定資産合計		3,209	2. 利益剰余金		
無形固定資産 (電話加入権)			法定準備金	2,400	
		22	任意積立金	7,400	
外部出資その他資産			当期末処分剰余金		
1. 系統出資金	1,099		(1) 当期剰余金	2,285	
2. 系統外出資金	1,110		(2) 前期繰越剰余金	599	
3. その他資産	9		利益剰余金合計	12,684	
外部出資その他資産合計		2,218	3. 資本準備金	114	
固定資産合計		5,449	組合員資本合計	23,044	
資産合計		34,123	純資産合計	23,044	
			負債・純資産合計		34,123

損益計算書

平成28年4月1日～平成29年3月31日

(単位:万円)

科目	計
A 事業総収益	4億 292
B 事業総費用	3億 1,189
a 事業総利益 (A - B)	9,103
b 事業管理費	5,920
c 事業利益 (a - b)	3,183
d 事業外損益	109
e 特別損益	-5
f 税引前当期利益 (c + d + e)	3,287
g 法人税、住民税額及び事業税	1,002
h 当期剰余金 (f - g)	2,285
i 前期繰越剰余金	599
j 当期末処分剰余金 (h + i)	2,884

平成28年度剰余金処分

(単位:万円)

摘要	小計	合計
I 当期末処分剰余金		2,884
II 剰余金処分額		2,400
1. 法定準備金	600	
2. 任意積立金	1,800	
(損失補填)	(1,100)	
(事務所建設)	(500)	
(森林整備活動)	(200)	
III 次期繰越剰余金		484

二十九年度運営の基本方針

*資源の循環利用を目指し再造林対策を強化

近年の木材自給率の上昇は、国の政策効果もあって、木材供給量の増加とともに、加工・流通施設等の整備が進んだものであります。

鶴岡市には木質バイオマス発電が既に稼働し、県内には他に6個所の計画が動き出しています。また、新庄市に整備が進められてきた大型集成材工場は本格稼働に入っており、さらに羽越木材協同組合鶴岡工場では、稼働している木質バイオマス発電用チップ工場のほか、新たに一般材を加工する製材工場の整備に本年度着手する計画であるなど、県産材の大幅な需要が見込まれ、県全域において安定供給体制の構築が望まれています。

山形県では、こうした木材需要の増加に伴い、木材生産の増進とともに、森林資源を持続させるため再造林が欠かせないとして、吉村知事は「再造林率100%を目指す」と公言し、本年度は再造林に補助率100%を決定しました。

本組合は、こうした情勢に則した中期経営計画（H25年度策定）と新たな系統運動方針に基づき、引き続き提案型集約化施設で搬出間伐と一体的な皆伐施設を積極的に進め、その後の再造林は有利な補助制度の活用や焼畑あつみかぶ栽培の導入により、森林所有者負担の発生を抑え、森林資源の循環利用を進めます。

これらを進める本年度の森林経営計画は、早田及び小名部地区に3林班280haを作成し、集約化施設は、計画の作成地区と先に樹立した山五十川地区に4団地約130haの搬出間伐とともに、10haを目標とする皆伐提案を行い、その木材生産量は、全木フル生産によって2万㎡以上を目指します。販売は、提携している大型製材・集成材工場や鶴岡バイオマス発電などへの安定供給体制を維持しつつ、組合のラミナ製材原木の確保を図り、森林所有者への確実な利益還元を努めます。また、森林境界の明確化や路網の整備を継続して進めるとともに、地域が管理する作業道等の維持管理や森林整備に関する活動支援に取組みます。公的機関が発注する事業の利用は、組合員事業を妨げない範囲において受注し、管内の総合的な森林整備の推進と木材生産の増進を図ります。運営面では、役員定数の削減で新たな体制でのスタートとなることから、理事会は組合活動の中心にあつてその業務を決定・推進していく任務にあることの認識をさらに深め、その機能を十分に発揮するよう一層努力します。職員及び従業員においては、全員が業務の意思決定に参画する度合いを高め「参加型経営」を実践して、最重要要素である人材力の向上に努め、経営の体質強化に取組みます。また、前年度の「運

営の基本方針」で示した事務所の増設整備計画は、理事会で協議を重ねた結果、現在の敷地内に新たな事務所として平屋40坪規模を1棟建設し、現在の事務所は会議・研修棟として活用して、業務環境の改善を図ります。建設財源は積立金を充当して、本年9月末までの完成を目指し、より組合員が気軽に利用しやすい明るい職場づくりに努めてまいります。

役員の新体制 定数削減で新たなスタート!

この度、役員定数の削減と選出規程の改正に基づき、今通常総代会において理事9名、監事3名の役員が選任され就任しました。その後、理事会及び監事会を経て左記の体制となりました。任期は第五十五回通常総代会の終了する時までの3年間、組合運営にあたります。



代表理事組合長 本間 文夫 (五十川)

この度、前代表理事組合長大井喜助氏の後任として、過日着任しました。これまで築かれた伝統の礎に新たな森林・林業を刻み、役員一丸となって専心努力してまいりますので、ご指導ご協力の程よろしくお願い申し上げます。



理事 五十嵐 敏也 (再)小園



理事 鈴木千代松 (再)小名部



理事 大井 喜助 (再)温海川



副組合長理事 粕谷 嘉章 (再)温海



理事 佐藤 三吉 (新)山五十川



理事 五十嵐 正直 (再)木野侯



理事 今野 拓夫 (再)宮名



理事 五十嵐 洋一 (再)鼠ヶ関



監事 伊藤 志郎 (新)戸沢



監事 本間 陽一 (再)小岩川



代表監事 野尻 文嗣 (再)越沢

*勇退されました役員

- 山五十川 理事 佐藤 重夫 (10期30年)
- 早 田 理事 本間 仁一 (1期3年)
- 一 霞 監事 阿部 嘉通 (2期6年)

組合運営にご尽力いただき誠にありがとうございました。

林業推進委員のご紹介

3年の任期により、各自治会長様からご推薦をいただき、この4月から組合員との連絡や事業の推進にご協力いただきます。
(敬称略)

集落名	氏名
戸	伊藤 幸
山五十川(南)	山口 千代吉
山五十川(北)	齋藤 彦一
安土	本間 繁太
五十川	本間 政一
鈴	佐藤 日出雄
小菅野代	榎本 論
暮坪	佐藤 寿一
温海	本間 金治
釜谷坂	加藤 富恵
湯温海(一区)	遠藤 正司

集落名	氏名
湯温海(二区)	榎本 久兵衛
霞	阿部 清明
宮名	今野 健治
浜中	佐藤 仁
横代	板垣 勝康
峠ノ山	五十嵐 和雄
小国	五十嵐 多賀雄
菅野代	白幡 小右衛門
温海川	忠鉢 直大
木野侯	佐藤 勘一

集落名	氏名
越沢	伊藤 昌一
関川	五十嵐 茂久
平沢	剣持 勝雄
小名部	寒河江 茂雄
鍋倉	五十嵐 知由
鼠ヶ関(関)	富樫 令
鼠ヶ関(興屋)	富樫 正三
鼠ヶ関(原海)	五十嵐 寛治
早田	本間 多市
小岩川	本間 源一

森の掲示板



この度の任期満了に伴い、10期30年森林組合の役員としてまた、在任中には平成17年から3期9年代表理事組合長を歴

任され、今期で勇退されました。佐藤重夫氏は、永年に亘り森林・林業の振興と本組合の再建や事業伸展などで、地域に貢献された功績が称えられ、昨年11月11日宮中に参内して天皇陛下に拝謁を賜る栄に浴されました。このことは個人の榮譽にとどまらず私ども関係する者にとりまして大変喜ばしいことでもあります。また、組合では先の通常総代会におい

て、この度の退任にあたり感謝状を贈呈しました。本当に長い間ご苦労様でした。



全国豊かな海づくり大会で「あつみ杉」を全国PR!

昨年9月11日、「森と川から海へとつながる生命のリレー」をテーマとして、山形県初となる第36回全国豊かな海づくり大会の海上歓迎・放流行事が天皇・皇后両陛下ご臨席の下、全国各地から関係者をお迎えし、鼠ヶ関港で開催されました。会場準備は1週間前から始まり、当組合では御放流台・一般放流台・取材台・プランターなどの制作にあたり、木材は全て森林整備により搬出された間伐材等の「あつみ杉」を使用し、開会式ではあつみ杉が紹介されました。

また、翌日には市のアートフォーラムで行われた宮内庁主催による昼食会に、樹齢百年を超えるあつみ杉で作った弁当箱や木の器・しな織りなどを使用したいただき、地域の資源や匠の技、文化を紹介することができ、これらが関係する多くの皆様から称賛いただき、地域にとつては大変名誉なことであり記念に残る大会となりました。



行事等のお知らせ

山の活動体験講習のご案内(募集)

サラリーマン林家等を対象に鶴岡市と共催により開催します。

- ◎日時 8月19日(土) 9時~16時
- ◎内容 山の活用事例紹介・刈払機メンテナンス・キノコ菌床栽培体験
- ◎対象 18歳以上で興味のある市民
- ◎定員 先着20名
- ◎申込み 8月11日まで当組合へ

※組合員研修視察のご案内(募集)

本年度の組合員研修視察「森林ふれあい大学」は、信州の森・歴・文を見聞する旅を企画し、次の通り実施します。

- ◎日時 8月31日(木)・9月1日(金)
- ◎視察先 長野・松本・安曇野・塩尻
- ◎日程等 貸切バス温海発着 (二泊二日)
- ◎詳しくは組合へお問合せください。
- ◎定員 先着40名程度
- ◎参加料 1万5千円/お一人様
- ◎申込み 7月31日(月)まで当組合へ

※庄内森と緑のフェスティバル

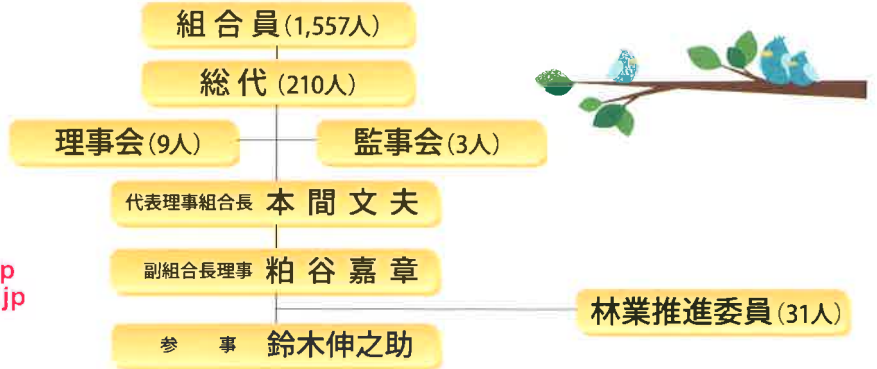
鶴岡大産業祭り

※温海産業祭り

- ◎日時 10月21・22日(土・日)
- ◎場所 鶴岡市小真木原運動公園
- ◎日時 10月28日(土)
- ◎場所 道の駅「しゃりん」

温海町森林組合 H29 組織構成

住所 〒999-7123
鶴岡市大岩川字木揚場8番地
TEL (0235)43-2313
FAX (0235)43-2317
E-mail: atsumisk@amber.plala.or.jp
URL http://www.shinrin-atsumi.or.jp



管理課

(兼)課長 鈴木 伸之助
(兼)指導担当 五十嵐 雅樹
忠 鉢 春香
主事補(庶務会計) 下本 緑
嘱託職員 加藤 富恵

- ◆ 庶務、企画、会計経理
- ◆ 管理、福利厚生
- ◆ 金融業務
- ◆ 指導業務

事業課

課長 五十嵐 茂一
課長補佐 五十嵐 雅樹
森林整備係長 劔 持喜哉
運輸主任 野尻 貴也
森林整備技師 長谷川 義晃
主事(事業担当) 忠 鉢 春香

- ◆ 林産販売事業(素材生産及び販売、特殊伐採等)
- ◆ 森林整備事業(森林整備、搬出間伐、作業道開設、病害虫防除等)
- ◆ 加工事業(ラミナ製材、製材品販売、看板・土木用資材品等の製造販売、その他木工品)
- ◆ 購買事業(苗木、林業用機材、生活物資販売、機械修理)

事業班

- 生産整備班 12人
- 加工班 6人
- 運輸係 1人

新事務所建設のお知らせ

現在の本組合事務所は、会議室等に使えるスペースがなく、業務に支障をきたしている状態であることから、これまで事務所建設費の積立を行ってきました。この度の決算でその積立金が目標額に達し、本年度現事務所の隣に新事務所を整備することとなりました。

規模は木造平屋40坪で完成は9月末頃の予定です。なお、現事務所は会議・研修棟として使用します。

新事務所完成予想図



お願い



森林の土地を取得したときは届出が必要 ～ 森林の土地の所有者届出制度 ～

この制度は、森林の土地の所有者移動や森林法に基づく施業勧告、伐採及び再造林の届出に係る命令等を円滑に実施するため、森林の土地の所有者となった場合には、市長への事後届を義務付けたものです。

●届出が必要な場合

- ・売買による森林の土地の取得
- ・相続による森林の土地の取得
- ・森林の土地を所有している法人の買収したことによる森林の土地の取得 など

全ての森林の土地の所有権の移転が対象(面積の基準はありませんので、面積が小さくても届出の対象)

●お問合せ

詳しくは、市の林務担当課までお問い合わせください。

組合員資格等の変更届

山林の相続や売買などにより所有名義や所有面積に移動があった時は、変更手続きをお願いします。

木材市況 2017.5

3m・3.65m材に価格の上昇が見られたが、全体的に当用買いがメインで価格は横ばいとなる。虫害に注意が必要な時期です。

県森連庄内木材流通センター

単位：m³/円

樹種	長さm	末口径級cm	高値	中値	備考
杉	4.00	36cm上	13,360	11,880	△
		20cm上	12,240	11,520	△
		14～18cm	10,980	10,080	◎
	3.65	20cm上	12,600	11,520	◎
		14～18cm	10,800	10,080	◎
	3.00	20cm上	12,600	11,520	◎
14～18cm		10,800	10,080	○	

※備考欄の◎高・○保合・△安は前月比

2m原木を組合に持込むと現金で買取ます

長さ	末口径	1本単価
2m	14 cm	150 円
2m	16 cm	200 円
2m	18 cm	450 円
2m	20 cm	560 円
2m	22 cm	670 円
2m	24 cm	800 円
2m	26 cm	1,000 円



組合へ、軽トラ等で直接搬入すると現金でその場でお支払いしています。なお、左記以上の径級単価設定もあります。

- 注意・長さ 2m以上+10cmまで
- ・曲り 矢高5cm以内
- ・その他 虫害、腐れ、割れなど